

皆さん、こんばんは。校長の佐久間です。

本日は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、放送で終業式を実施することにしました。

先ず、昨年度末から、新型コロナウイルスの感染予防のため、普段通りの教育活動が実施できない状況が続いています。学校が再開された6月は、感染者が減りやや落ち着いている状態でしたが、7月に入って再び感染者が増加しています。また、既に報道されていることなので皆さんも知っているかもしれませんが、埼玉県内の2つの県立高校で、それぞれ複数名の生徒が新型コロナウイルスに感染したことも気がかりです。ですから、授業や学校行事等の教育活動に、現在でも制限が加えられるのも、皆さんの生命や健康を守る上で必要なことなので、ぜひ理解してください。また、このような状況が、2学期以降も続くとも推測されます。場合によっては、ワクチンや治療薬が開発・製造されるまで、感染防止を継続しながら、新型コロナウイルスと共存して行かなければならないかもしれません。ですから、夏季休業中も、外出しなければならないときは、人混みを避け、手洗い・うがいを励行し、マスクを着用してください。また、検温等の健康観察も、これまでどおり継続して行ってください。お願いします。

ところで、我々人類の歴史を振り返ると、様々な感染症との戦いの歴史であったといえるのかもしれませんが。例えば、世界史の教科書にも出ている14世紀から15世紀にヨーロッパで大流行したペストや、19世紀、江戸時代末期の我が国も世界的な流行に巻き込まれてしまったコレラ、さらには1918年に第1次世界大戦の戦場から大流行が発生したインフルエンザ等、歴史に大きな影響を与えた感染症もありました。我が国の奈良の大仏（東大寺の盧舎那仏）が、8世紀に造られた理由として、当時流行していた天然痘を抑制する意味合いがあったともいわれています。

これらの感染症の流行により、多くの人命が奪われるなどマイナスの側面がありますが、一方で感染症を克服することによって人類が進歩・発展してきたという面もあります。ワクチンや治療薬の開発による医学の進歩や公衆衛生の向上が図られるからです。先ほど述べた天然痘は、イギリスのジェンナーによる種痘の普及により、現在、自然界ではほぼ根絶されてしまいました。

皆さんの中には、様々なことに制限が加えられる現状に悩んだり、不透明な先行きに漠然と不安を感じたりすることがあるかもしれません。しかし、むしろこのような時だからこそ、「プラス思考」で、今できることを着実に行っていただきたいと考えています。夏季休業中は、1・2・3年生は苦手教科の克服、4年生は自分の進路実現に向けて取り組むのがよいのではないのでしょうか。「ピンチをチャンスに変える」という意識で取り組みましょう。ただし、悩みや心配が解消できない場合は、遠慮なく先生方に相談してください。

結びとなりますが、皆さんが充実した夏季休業を過ごすとともに、8月25日に、元気に登校することを願っています。特に、4年生の就職希望者は、会社訪問等、就職活動で頑張ってください。就職できるという手ごたえがあることを期待しています。

以上で話を終わります。